

平成17年3月期

個別中間財務諸表の概要

コード番号 8748 本社所在都道府県 大阪府

(URL http://www.okato.co.jp)

代表者 役職名 取締役社長

氏名 加藤 雅一

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長

 氏名
 松井 政彦
 TEL (03)3552-1121

決算取締役会開催日 平成16年11月19日 中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日 平成・年・月・日 単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1.平成16年9月中間期の業績(平成16年4月1日~平成16年9月30日)

(1) 経営成績

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	中間(当期)純利益	1 株当たり中間 (当期)純利益	
16年3月期	9,920	970	1,000
15年9月中間期	5,045 (1.1)	264 (65.8)	330 (62.5)
16年9月中間期	4,968 (1.5)	673 (154.9)	679 (105.5)
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
	営業収益	宮業利益	経常利益

	中間(当期)純利益	1 株当たり中間 (当期)純利益
	百万円 %	円 銭
16年9月中間期	246 (49.5)	26 28
15年9月中間期	165 (67.5)	16 57
16年3月期	246	22 62
	DW 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	

(注) 期中平均株式数 16年9月中間期9,391,318株 15年9月中間期9,961,581株 16年3月期 9,782,564株 会計処理の方法の変更 無

営業収益、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は対前年中間期増減率であります。

(2) 配当状況

	1 株当たり 中間配当金		1 株当たり 年間配当金	
	円	銭	円	銭
16年9月中間期	0	00		
15年9月中間期	0	00		
16年3月期			15	00

(3) 財政状態

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり杉	未主資本
	百万円	百万円	%	円	銭
16年9月中間期	56,509	15,571	27.6	1,675	12
15年9月中間期	60,795	15,443	25.4	1,550	34
16年3月期	63,688	15,751	24.7	1,670	27

(注) 期末発行済株式数 16年9月中間期9,295,581株 15年9月中間期9,961,581株 16年3月期 9,415,581株 期末自己株式数 16年9月中間期 669,466株 15年9月中間期 3,466株 16年3月期 549,466株

2.平成17年3月期の業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月3日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1 株	当たり	年間配当金	
	三耒 収皿	起市利益	当别能利益	期末			
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
通期	9,606	628	283	15	00	15	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 30円07銭

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

5.個別中間財務諸表等

(1) 中間財務諸表等

中間貸借対照表

W.W.CAIRGIT			間会計期間末 15年9月30日)		間会計期間末 16年 9 月30日)		度の要約貸借対 16年 3 月31日	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
資産の部										
流動資産										
1 . 現金及び預金	2		29,964,575			23,145,135			30,820,823	
2 . 委託者未収金			630,026			1,502,253			655,494	
3 . 売掛金			1,848			-			-	
4.有価証券	2		506,852			-			446,303	
5 . 商品			216,601			340,297			388,084	
6 . 保管有価証券	2		5,269,939			3,948,118			5,438,673	
7 . 差入保証金			2,162,559			4,432,644			3,670,220	
8 . 委託者先物取引差 金	4		2,600,135			3,275,149			2,993,824	
9 . 繰延税金資産			474,716			505,824			522,171	
10.その他の流動資産	3		1,520,269			2,326,044			1,312,565	
11.貸倒引当金			34,900			14,600			24,600	
流動資産合計			43,312,624	71.2		39,460,868	69.8		46,223,561	72.6
固定資産										
(1) 有形固定資産										
1 . 建物	1,2		2,739,273			2,721,095			2,720,360	
2 . 土地	2		2,480,642			2,480,642			2,480,642	
3 . その他の有形固 定資産	1		284,162			290,880			274,544	
有形固定資産合計			5,504,078	9.1		5,492,618	9.7		5,475,548	8.6
(2)無形固定資産			408,297	0.7		650,247	1.2		648,296	1.0
(3)投資その他の資産										
1.投資有価証券	2		4,003,831			3,818,098			4,380,053	
2 . 出資金			553,349			210,873			262,980	
3 . 長期特定金銭信 託等	7		2,493,506			2,524,729			2,536,105	
4 . 長期差入保証金			865,801			892,646			889,714	
5 . 繰延税金資産			890,610			830,237			601,760	
6 . 再評価に係る繰 延税金資産			1,557,473			1,557,473			1,557,473	
7 . その他の投資そ の他の資産			2,172,053			1,894,220			1,915,768	
8.貸倒引当金			966,500			822,300			803,200	
投資その他の資産 合計			11,570,126	19.0		10,905,978	19.3		11,340,656	17.8
固定資産合計			17,482,503	28.8		17,048,844	30.2		17,464,501	27.4
資産合計			60,795,127	100.0		56,509,713	100.0		63,688,062	100.0

			間会計期間末 15年 9 月30日)		間会計期間末 16年9月30日)		度の要約貸借対 16年 3 月31日	
区分	注記 番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
負債の部										
流動負債										
1.委託者未払金			1,985,692			1,540,675			1,809,688	
2 . 買掛金			1,823			15,235			-	
3 . 短期借入金	2		1,090,000			530,000			708,252	
4 . 一年以内返済予 定の長期借入金	2		437,000			331,750			430,850	
5 . 一年以内償還予 定の社債	2		100,000			460,000			460,000	
6 . 未払法人税等			158,775			295,936			246,483	
7 . 未払消費税等	6		36,686			32,606			34,754	
8.預り委託証拠金			30,140,185			27,845,077			32,563,405	
9 . 預り委託証拠金 代用有価証券			5,269,939			3,948,118			5,438,673	
10. 賞与引当金			322,800			307,400			321,046	
11 . その他の流動負 債			1,059,147			860,646			1,132,050	
流動負債合計			40,602,049	66.8		36,167,446	64.0		43,145,204	67.7
固定負債										
1 . 社債	2		1,200,000			1,210,000			1,090,000	
2 . 長期借入金	2		612,750			698,000			843,900	
3 . 長期借入有価証 券			1,800,000			1,800,000			1,800,000	
4 . 退職給付引当金			213,720			262,012			256,296	
5 . その他の固定負 債			324,996			4,537			4,537	
固定負債合計			4,151,467	6.8		3,974,549	7.0		3,994,733	6.3
特別法上の準備金										
1.商品取引責任準 備金	3		597,744			796,545			796,545	
特別法上の準備金 合計			597,744	1.0		796,545	1.4		796,545	1.3
負債合計			45,351,261	74.6		40,938,541	72.4		47,936,484	75.3
資本の部										
資本金			3,484,864	5.7		3,484,864	6.2		3,484,864	5.4
資本剰余金										
1.資本準備金		1,965,719			1,965,719			1,965,719		
資本剰余金合計			1,965,719	3.2		1,965,719	3.5		1,965,719	3.1
利益剰余金										
1 . 利益準備金		871,216			871,216			871,216		
2 . 任意積立金		11,315,000			11,315,000			11,315,000		
3.中間(当期)未 処分利益		621,808			783,585			702,974		
利益剰余金合計			12,808,024	21.1		12,969,801	23.0		12,889,190	20.2
土地再評価差額金			2,241,241	3.7		2,241,241	4.0		2,241,241	3.5
その他有価証券評 価差額金	7		572,251	0.9		270,104	0.5		88,287	0.1
自己株式			1,248	0.0		337,867	0.6		258,667	0.4
資本合計			15,443,866	25.4		15,571,172	27.6		15,751,578	24.7
負債資本合計			60,795,127	100.0		56,509,713	100.0		63,688,062	100.0

中間損益計算書

		(自平	P間会計期間 成15年 4 月 1 [成15年 9 月30]		(自 平	P間会計期間 成16年4月1日 成16年9月30日		(自 平	きの要約損益計 成15年4月1日 成16年3月3日	∃ İ
区分	注記 番号	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)
営業収益										
(1)商品先物取引事 業収益										
1.受取手数料	1	4,507,601			4,227,165			9,019,140		
2 . 売買損益	2	360,709			542,411			460,545		
3 . その他		131,637	4,999,947		138,571	4,908,147		336,339	9,816,025	
(2) その他の営業収 益			45,070			60,719			104,061	
営業収益合計			5,045,018	100.0		4,968,867	100.0		9,920,087	100.0
販売費及び一般管 理費	7		4,780,925	94.8		4,295,814	86.5		8,949,482	90.2
営業利益			264,093	5.2		673,052	13.5		970,604	9.8
営業外収益	3		206,280	4.1		127,446	2.6		298,039	3.0
営業外費用	4		139,539	2.8		120,649	2.4		267,937	2.7
経常利益			330,833	6.5		679,849	13.7		1,000,706	10.1
特別利益										
1.固定資産売却益	5	-			349			-		
2 . 有価証券売却益		-			77,548			-		
3 . 貸倒引当金戻入 益		-			10,000			-		
特別利益合計			-	-		87,898	1.8		-	-
特別損失										
1.商品取引責任準 備金繰入額		-			-			198,801		
2.固定資産売却損	6	47			-			1,754		
3.関係会社株式評 価損		-			246,242			200,600		
4.役員退職慰労金		-			70,700			-		
5 . その他		26			-			9,073		
特別損失合計			74	0.0		316,942	6.4		410,228	4.1
税引前中間(当 期)純利益			330,759	6.5		450,806	9.1		590,477	6.0
法人税、住民税及 び事業税		163,410			289,742			437,752		
法人税等調整額		2,195	165,605	3.2	85,781	203,961	4.1	93,594	344,158	3.5
中間(当期)純利 益			165,153	3.3		246,844	5.0		246,319	2.5
前期繰越利益			456,655			536,740			456,655]
中間(当期)未処 分利益			621,808			783,585			702,974	

中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

			I
項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1.資産の評価基準および評価方法	(1)有価証券 子会社株式および関連会社株 式	(1) 有価証券 子会社株式および関連会社株 式	(1) 有価証券 子会社株式および関連会社株 式
	移動平均法による原価法	同左	同左
	その他の有価証券	その他の有価証券	その他の有価証券
	時価のあるもの	時価のあるもの	時価のあるもの
	中間決算日の市場価格等	同左	決算期末日の市場価格等
	に基づく時価法(評価差		に基づく時価法(評価差
	額は全部資本直入法によ		額は全部資本直入法によ
	り処理し、売却原価は主		り処理し、売却原価は主
	として移動平均法により		として移動平均法により
	算定しております。)		算定しております。)
	時価のないもの	時価のないもの	時価のないもの
	移動平均法による原価法	同左	同左
	なお、保管有価証券は商品取		なお、保管有価証券は商品取
	引所法施行規則第7条の規定		引所法施行規則第7条の規定
	により商品取引所が定めた充		により商品取引所が定めた充
	用価格によっており、主な有		用価格によっており、主な有
	価証券の充用価格は次のとお りであります。		価証券の充用価格は次のとお りであります。
	利付国債証券(長期7%未	利付国債証券(長期7%未	利付国債証券(長期7%未
	満)	満)	満)
	額面金額の80%	… 同左	同左
	社債券(上場銘柄)	社債券(上場銘柄)	社債券(上場銘柄)
	額面金額の65%	同左	同左
	株券(一部上場銘柄) …時価の70%相当額	株券(一部上場銘柄)	株券(一部上場銘柄)
	…····································	… 同左 倉荷証券	同左 倉荷証券
	時価の70%相当額		启刊证分 同左
	(2)特定金銭信託等を構成する信	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	託財産	託財産	託財産
	時価法	… 同左	… 同左
	(3) デリバティブ	(3) デリバティブ	(3) デリバティブ
	時価法	同左	同左
	(4)たな卸資産	(4) たな卸資産 商品	(4) たな卸資産 商品
	商品 先入先出法による原価法	同左	
 2 . 固定資産の減価償却の方	(1) 有形固定資産	(1)有形固定資産	(1)有形固定資産
2.回足負性の減価値部の方 法	建物(建物附属設備を除く)	(「) 有形回足員座 建物(建物附属設備を除く)	(「) 有形回足員座 建物(建物附属設備を除く)
74	定額法		上
	建物以外定率法	建物以外同左	建物以外
	なお、主な耐用年数は以下の	なお、主な耐用年数は以下の	なお、主な耐用年数は以下の
	とおりであります。	とおりであります。	とおりであります。
	建物18~50年	建物同左	建物
	建物附属設備3~42年	建物附属設備同左	建物附属設備同左
	(2)無形固定資産定額法	(2)無形固定資産定額法	(2)無形固定資産定額法
	なお、ソフトウェアについて	なお、ソフトウェアについて	なお、ソフトウェアについて
	は社内利用可能期間(5年)	は社内利用可能期間(5年)	は社内利用可能期間(5年)
	に基づく定額法を採用してお	に基づく定額法を採用してお	に基づく定額法を採用してお
	ります。	ります。	ります。
	(3)長期前払費用定額法	(3)長期前払費用同左	(3)長期前払費用同左
3 . 繰延資産の処理方法	社債発行費	社債発行費	社債発行費
	支出時に全額費用として処理し	同左	同左
	ております。		
	•	•	

項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
4 . 引当金および特別法上の準備金の計上基準	(1)貸倒引当金 委託者の債権や貸付金等の貸 倒損失に備えるため、一般債 権については貸倒実績繰入率 により、貸倒懸念債権等特定 の債権については個別に回収 可能性を検討し、回収不能見	(1)貸倒引当金 同左	(1)貸倒引当金 同左
	込額を計上しております。 (2) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支出 に充てるため、支給見込額に 基づき計上しております。	(2) 賞与引当金 同左	(2) 賞与引当金 同左
	(3) 退職給付に備えるため、付引当金従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における資産の見込額において発生しての見込額において発生しして変更時差異(680,280千円)がます。なお、会計基別におります。なお、会計基別には、15年によります。と認め手には、その強力には、その対象を費上のででは、その対象をであります。	(3)退職給付引当金 同左	(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の 見込額に基づき計上しております。 会計基準変更時差異(680,280 千円)は、15年による均等額を費用処理しております。 数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(5年)による定額法によりそれぞれ発生の会計年度から費用処理しております。
	(4) 商品取引責任準備金 商品先物取引事故による損失 に備えるため、商品取引所法 第136条の22の規定に基づき 同法施行規則に定める額を計 上しております。	(4)商品取引責任準備金 同左	(4)商品取引責任準備金 同左
5.営業収益の計上基準	(1) 受取手数料 イ・商品先物取引 現物先物取引および指数先 物取引については、委託者 が取引を転売又は買戻しお よび受渡しにより決済した ときに計上しております。 また、オブション取引につ いては、委託者の売付け又 は買付けに係る取引が成立 したときに計上しております。	(1)受取手数料 イ.商品先物取引 同左	(1)受取手数料 イ.商品先物取引 同左
	ロ・商品ファンド 取引成立日に計上しており ます。 (2)売買損益・商品先物取引損益	ロ・商品ファンド 同左 (2)売買損益 - 商品先物取引損益	ロ . 商品ファンド 同左 (2)売買損益 - 商品先物取引損益
	にすが真領品ではいない。 反対売買により取引を決済したときに計上しております。 また、未決済建玉については時価による評価損益を計上しております。	同左	同左

項目	前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
6 . リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファ イナンス・リース取引については 通常の賃貸借取引に係る方法に準 じた会計処理によっております。	同左	同左
7.ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 金利スワップについては、特例処理の要件を満たしておりますので、特例処理を採用しております。 (2) ヘッジ 手手段とヘッジ対象 ヘッジ 手手り、金利スワップ ヘッジ対象 キャッシュ・フローが固定され、るものよび相場変動等がに反映されていないもの。	(1) ヘッジ会計の方法 同左(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左同左ロ左	(1) ヘッジ会計の方法 同左(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左同左ロ左ロ左
	(3) ヘッジ方針 金利等の相場変動に伴うリスクの軽減、資金調達コストの低減を目的に金利に係るデリバティブ取引を行っております。 原則として実需に基づくものを対象としてデリバティブ取引を行っており、投機目的のデリバティブ取引は行っておりません。	(3) ヘッジ方針 同左	(3) ヘッジ方針 同左
0 7 0 /k dr 88 9 7 9 4 7 9 4	(4) ヘッジ有効性評価の方法 金利スワップについては、特 例処理の要件を満たしている ため有効性の評価を省略して おります。	(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左	(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左
8.その他中間財務諸表(財 務諸表)作成のための重 要な事項	消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式 によって行っております。	消費税等の会計処理 同左	消費税等の会計処理 同左

追加情報

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
	法人事業税における外形標準課税部分の損益	
	計算書上の表示について	
	「地方税法等の一部を改正する法律」	
	(平成15年法律第9号)が平成15年3月31	
	日に交付され、平成16年4月1日以降に開	
	始する事業年度より外形標準課税制度が導	
	入されたことに伴い、当中間会計期間から	
	「法人事業税における外形標準課税部分の	
	損益計算書上の表示についての実務上の取	
	扱い」(平成16年2月13日企業会計基準委	
	員会 実務対応報告第12号)に従い法人事	
	業税の付加価値割および資本割について	
	は、販売費・一般管理費に計上しておりま	
	す。	
	この結果、販売費・一般管理費が18,038	
	千円増加し、営業利益、経常利益および税	
	引前中間純利益がそれぞれ同額減少してお	
	ります。	

注記事項

(中間貸借対照表関係)

前中間会計期間末 (平成15年9月30日)	当中間会計期間末 (平成16年9月30日)	前事業年度末 (平成16年 3 月31日)		
1 . 有形固定資産の減価償却累計額	1 . 有形固定資産の減価償却累計額	1 . 有形固定資産の減価償却累計額		
1,250,359千円	1,357,445千円	1,281,569∓		
2 . 担保等に供している資産の内訳および	2 . 担保等に供している資産の内訳および	2 . 担保等に供している資産の内訳および		
これらに対応する債務等の内訳は次の	これらに対応する債務等の内訳は次の	これらに対応する債務等の内訳は次の		
とおりであります。	とおりであります。	とおりであります。		
イ.担保資産	イ.担保資産	イ.担保資産		
(担保資産の内訳)	(担保資産の内訳)	(担保資産の内訳)		
建物 2,390,226千円	建物 2,340,797千円	建物 2,365,512千円		
土地 2,444,547	土地 2,444,547	土地 2,444,547		
投資有価証券 856,550	投資有価証券 1,009,200	投資有価証券 1,179,720		
合計 5,691,324	合計 5,794,544	合計 5,989,779		
(対応する債務の内訳)	(対応する債務の内訳)	(対応する債務の内訳)		
社債 300,000千円	社債 300,000千円	保証債務 113,810千円		
短期借入金 890,000	短期借入金 330,000	社債 300,000		
長期借入金 1,049,750	長期借入金 1,029,750	(うち一年以内 (300,000)		
(うち一年以内	(うち一年以内	の償還分)		
返済予定の長期 (437,000)	返済予定の長期 (331,750)	短期借入金 310,000		
借入金)	借入金)	長期借入金 1,274,750		
合計 2,239,750	合計 1,659,750	(うち一年以内		
		返済予定の長期 (430,850)		
		借入金)		
		合計 1,998,560		
口.預託資産	口.預託資産	口.預託資産		
商品取引所法等関係法令、取引所	商品取引所法等関係法令、取引所	商品取引所法等関係法令、取引所		
定款等により預託すべき取引証拠	定款等により預託すべき取引証拠	定款等により預託すべき取引証拠		
金および受託業務保証金の代用と	金および受託業務保証金の代用と	金および受託業務保証金の代用と		
して商品取引所に預託している資	して商品取引所に預託している資	して商品取引所に預託している資		
産は、次のとおりであります。	産は、次のとおりであります。	産は、次のとおりであります。		
有価証券 359,820千円	保管有価証券 453,300千円	有価証券 446,303千円		
保管有価証券 2,041,001	投資有価証券 274,381	保管有価証券 1,878,700		
投資有価証券 616,499	合計 727,681	投資有価証券 378,114		
合計 3,017,322		合計 2,703,117		
(注)上記には、自己の未決済玉	(注)上記には、自己の未決済玉	(注)上記には、自己の未決済玉		
に係る取引証拠金の代用有	に係る取引証拠金の代用有	に係る取引証拠金の代用有		
価証券596,909千円を含ん	価証券8,513千円を含んで	価証券379,122千円を含ん		
でおります。	おります。	でおります。		
なお、商品取引所法第97条の2第	なお、商品取引所法第97条の2第	なお、商品取引所法第97条の2第		
4項の規定に基づき、受託業務保	4項の規定に基づき、受託業務保	4項の規定に基づき、受託業務保		
証金の預託に代えて銀行等と契約	証金の預託に代えて銀行等と契約	証金の預託に代えて銀行等と契約		
している「契約預託金額」は	している「契約預託金額」は	している「契約預託金額」は		
1,000,000千円であります。	1,000,000千円であります。	1,000,000千円であります。		

前中間会計期間末 (平成15年9月30日)	当中間会計期間末 (平成16年 9 月30日)	前事業年度末 (平成16年3月31日)		
ハ・分離保管資産 商品取引所法第136条の15の規定 に基づき所定の金融機関に分離保 管されている資産は次のとおりで あります。 預金 16,893,741千円 金銭信託 10,001,000 保管有価証券 3,170,937 合計 30,065,679	八.分離保管資産 商品取引所法第136条の15の規定 に基づいて分離保管されている資産は次のとおりであります。 預金 6,690,204千円 金銭信託 13,001,000 協会預託 (注) 1,000,000 保管有価証券 3,424,636 合計 24,115,841 (注)(社)商品取引受託債務補償基金協会への預託金であります。	八.分離保管資産 商品取引所法第136条の15の規定 に基づき所定の金融機関に分離保 管されている資産は次のとおりで あります。 預金 15,624,497千円 金銭信託 12,001,000 保管有価証券 3,521,777 合計 31,147,275		
また、商品取引所法施行規則第43 条第1項第4号に基づく、銀行に よる契約弁済保証額は次のとおり であります。 (株三井住友銀行 500,000千円	また、商品取引所法施行規則第43 条第1項第4号に基づく、銀行に よる契約弁済保証額は次のとおり であります。 (株)三井住友銀行 500,000千円	また、商品取引所法施行規則第43 条第1項第4号に基づく、銀行に よる契約弁済保証額は次のとおり であります。 (株三井住友銀行 500,000千円		
なお、同法施行規則第41条第1項 に基づく、当社が所定の金融機関 に預託して分離保管しなければならない資産の金額は28,433,751千円であります。 イ~八のほか、長期差入保証金(特別担保金)の代用として、有価証券372,312千円を差入れております。 3.商品取引責任準備金の積立は、商品取引所法第136条の22の規定に基づくものであります。なお、日本商品先物取引協会の定款に基づき、この積立額に相当する額の現金を商品取引責任準備預託金として日本商品先物取引協会に預託しております。	なお、同法施行規則第41条第1項 に基づく、当社が所定の金融機関 に預託して分離保管しなければな らない資産の金額は22,884,621千 円であります。 イ~八のほか、長期差入保証金(特別 担保金)の代用として、有価証券 341,620千円を差入れております。 3. 同左	なお、同法施行規則第41条第1項 に基づく、当社が所定の金融機関 に預託して分離保管しなければな らない資産の金額は29,391,912千 円であります。 イ~八のほか、長期差入保証金(特別 担保金)の代用として、有価証券 389,850千円を差入れております。 3. 同左		
4. 委託者の未決済玉に係る値洗差金の商品取引所との受払精算額で、当該未決済玉に係る売買損相当額であります。	4. 同左	4. 同左		
5. 保証債務 関係会社の銀行等からの借入金やリース債務等に対し、次のとおり保証を行っております。 (保証先) (保証額) オカトーショウジシンガポール プライベ 196,480千円ートリミテッド 岡藤情報サービス株式会社 160,822	5 . 保証債務 関係会社の銀行等からの借入金やリース債務等に対し、次のとおり保証を行っております。 (保証先) (保証額) オカトーショウジ シンガポール プライベ 98,565千円 ートリミテッド 岡藤情報サービス株式 66,799	5.保証債務 関係会社の銀行等からの借入金やリース債務等に対し、次のとおり保証を行っております。 (保証先) (保証額) オカトーショウジ シンガポール プライベ 194,305千円ートリミテッド 岡藤情報サービス株式会社 113,810		
サン・キャピタル・マ ネジメント株式会社 合計 387,302	サン・キャピタル・マ ネジメント株式会社 合計 195,364	サン・キャピタル・マ ネジメント株式会社 合計 338,115		
6.消費税等の取扱い 仮払消費税等および仮受消費税等は、 相殺のうえ未払消費税等として表示し ております。	6.消費税等の取扱い 同左	6.		
7. その他有価証券に準じて時価評価した 長期特定金銭信託等の評価差額金が含 まれております。	7. 同左	7. 同左		

(中間損益計算書関係)

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
1.受取手数料の内訳 商品先物取引 4,420,869千円 商品ファンド 86,732 合計 4,507,601	1. 受取手数料の内訳 商品先物取引 4,153,813千円 商品ファンド 73,351	1.受取手数料の内訳 商品先物取引 8,891,098千円 商品ファンド 128,042
合計 4,507,601 2 . 売買損益の内訳 商品先物取引 336,776千円 商品売買取引 5,810 その他 18,121 合計 360,709 (注)商品売買取引は、貴金属商品等 の売買取引による売上総利益で あります。なお売上高は 487,228千円であり、売上原価 の内訳は次のとおりでありま す。 イ . 商品期首たな卸高 181,612千円	合計 4,227,165 2 . 売買損益の内訳 商品先物取引 502,986千円 商品売買取引 17,011 その他 22,414 合計 542,411 (注)商品売買取引は、貴金属商品等 の売買取引による売上総利益で あります。なお売上高は 348,273千円であり、売上原価 の内訳は次のとおりであります。 イ・商品期首たな卸高 388,084千円	合計 9,019,140 2 . 売買損益の内訳 商品先物取引 436,182千円 商品売買取引 35,044 その他 10,681 合計 460,545 (注)商品売買取引は、貴金属商品等 の売買取引による売上総利益で あります。なお売上高は 785,927千円であり、売上原価 の内訳は次のとおりでありま す。 イ・商品期首たな卸高 181,612千円
ロ・当期商品仕入高 516,407 小計 698,019 八・商品期末たな卸高 216,601 売上原価 481,417 3・営業外収益のうち主要なもの受取利息 2,790千円組合事業投資利益 組合事業投資利益 123,272	ロ・当期商品仕入高 283,476 小計 671,560 八・商品期末たな卸高 340,297 売上原価 331,262 3・営業外収益のうち主要なもの受取利息 3,566千円組合事業投資利益 組合事業投資利益 6,761	ロ・当期商品仕入高 957,354 小計 1,138,966 八・商品期末たな卸高 388,084 売上原価 750,882 3・営業外収益のうち主要なもの 受取利息 組合事業投資利益 170,512
 4.営業外費用のうち主要なもの 支払利息 69,539千円 社債発行費償却 23,687 5.固定資産売却益の内容 6.固定資産売却損の内容 	 4. 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 69,985千円 社債発行費 13,500 5. 固定資産売却益の内容 車両 349千円 6. 固定資産売却損の内容 	4 . 営業外費用のうち主要なもの 支払利息 135,583千円 社債発行費 36,987 5 . 固定資産売却益の内容 6 . 固定資産売却損の内容
車両 47千円 7.減価償却実施額 有形固定資産 69,691千円 無形固定資産 47,673	7.減価償却実施額 有形固定資産 75,875千円 無形固定資産 67,845	車両 1,754千円 7.減価償却実施額 143,305千円 無形固定資産 114,175

(リース取引関係)

前中間会計期間 (自 平成15年4月1日 至 平成15年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 1.リース物件の取得価額相当額、減価償却

累計額相当額および中間期末残高相当額

	取得価 額相当 額 (千円)	減価償 却累相当 額 (千円)	中間期 末残高 相当額 (千円)
有形固定資産			
その他	986,590	439,481	547,108
合計	986,590	439,481	547,108

2.未経過リース料中間期末残高相当額1年内 213,764千円1年超 350,081

合計

支払利息相当額

3.支払リース料、減価償却費相当額および

563,846

支払リース料108,706千円減価償却費相当額102,298支払利息相当額10,596

- 4.減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を 零とする定額法によっております。
- 5. 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相 当額との差額を利息配当額とし、各期へ の配分方法については、利息法によって おります。

当中間会計期間 (自 平成16年4月1日 至 平成16年9月30日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 1.リース物件の取得価額相当額、減価償却 累計額相当額および中間期末残高相当額

	取得価額 相当額 (千円)	減価償 却累計 額 (千円)	中間期 末残高 相当額 (千円)
有形固定資 産			
その他	1,125,748	603,605	522,142
合計	1,125,748	603,605	522,142

 2 . 未経過リース料中間期末残高相当額

 1年内
 248,823千円

 1年超
 293,093

 合計
 541,917

3. 支払リース料、減価償却費相当額および 支払利息相当額

支払リース料139,082千円減価償却費相当額128,556支払利息相当額12,286

4.減価償却費相当額の算定方法

同左

5 . 利息相当額の算定方法

同左

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 1.リース物件の取得価額相当額、減価償却

リース物件の取停側額相当額、減価値累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相当額(千円)	減価償 却累相当 額 (千円)	期末残高相当額 (千円)
有形固定資 産			
その他	1,061,853	496,785	565,068
合計	1,061,853	496,785	565,068

2. 未経過リース料期末残高相当額

1年内242,206千円1年超341,178合計583,385

3. 支払リース料、減価償却費相当額および 支払利息相当額

 支払リース料
 234,007千円

 減価償却費相当額
 217,910

 支払利息相当額
 22,529

4.減価償却費相当額の算定方法

同左

5 . 利息相当額の算定方法

同左

(1株当たり情報)

前中間会計期間	当中間会計期間	前事業年度		
(自 平成15年4月1日	(自 平成16年4月1日	(自 平成15年4月1日		
至 平成15年9月30日)	至 平成16年9月30日)	至 平成16年3月31日)		
1 株当たり純資産額 1,550.34円	1 株当たり純資産額 1,675.12円	1 株当たり純資産額 1670.27円		
1 株当たり中間純利益 16.57円	1 株当たり中間純利益 26.28円	1 株当たり当期純利益 22.62円		
なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		

(注) 1株当たり中間(当期)純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	(自 至	前中間会計期間 平成15年4月1日 平成15年9月30日)	(自 至	当中間会計期間 平成16年4月1日 平成16年9月30日)	(自 至	前事業年度 平成15年4月1日 平成16年3月31日)
中間(当期)純利益(千円)		165,153		246,844		246,319
普通株主に帰属しない金額(千円)		-		-		25,000
(うち利益処分による役員賞与金 (千円))		(-)		(-)		(25,000)
普通株式に係る中間(当期)純利益 (千円)		165,153		246,844		221,319
期中平均株式数(千株)		9,961		9,391		9,782

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。